

# 地域コミュニティワークショップ 実施概要(済美南地区)

## 第1回

日時:6/27(土)  
19:00-21:00  
場所:春日公民館  
済美南分館  
参加者:42名

ファシリテーター役を務める(株)ひとまの宝楽陸寛(ほうらくみちひろ)氏から、奈良市や地区の人口、高齢化率等の数字データを示した後、3回のワークショップの趣旨(将来像を定めるための会議であり、要望を聞く場、具体的な施策提案をする場でないこと)を説明していただきました。

その後、参加者は、5つのキーワード【①暮らし・生活、②福祉・健康、③にぎわい・交流、④教育・子ども、⑤防犯・安全】の中でもっとも興味があるキーワードのグループに分かれました。模造紙とフセンを使って、それぞれのグループで地区の魅力(良いところ)や課題(残念なところ)について話し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。各グループで作成したものは1つにまとめ、壁新聞にしました。



## 第2回

日時:7/5(日)  
19:00-21:00  
場所:春日公民館  
済美南分館  
参加者:45名

前回の壁新聞を1枚の紙に整理したものを配布し、前回の話し合いを皆で確認しました。その後、各グループで出た課題の中から3~5つを各グループで話し合って選び、その課題についてどんな解決方法が考えられるか皆で考えました。

その際、「問題シート」を使い、「行政が取り組むこと」「地域と行政が協働して取り組むこと」「個人や団体、地域が取り組むこと」の3段階でそれぞれできることを出し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。



## 第3回

日時:8/1(土)  
19:00-21:00  
場所:春日公民館  
済美南分館  
参加者:41名

前回各グループで出た課題と解決方法を一覧表にし、それぞれの課題・解決方法に対する行政からのコメントを返しました。コメント返しに対して地域住民から行政に質問や意見が出されました。中には他の住民がその質問に答えるという場面も見られ、地域のつながりが見受けられました。

その後、宝楽氏が3回のワークショップをまとめました。済美南地区においては各種団体の連携・つながりが強く、コミュニケーションもとれている一方で、皆が活動している姿が周りの住民に認知されていないことを参加者全員で確認しました。

最後に、西上自治連合会長から締めくくりのあいさつがありました。「今後も行政と協働してこういった機会を作っていきたい、皆で決めた目標に向かって頑張っていた先に、地域自治協議会という一つの形が見えてくるので今後も協力をお願いしたい」との言葉で閉会しました。